

「洞爺湖サミット&環境」に対する意識調査

NPO法人ドットジェイピー
文責：山口 翔也

July 4th,2008
Marketing Group, dot-jp,
the specified nonprofit corporation



2008年4月21日～6月7日の1か月半、
全国の大学生 6995名に対して、
「洞爺湖サミット&環境」に対する意識調査を実施いたしました。

大学生：院生、専門学生、短大生を含む
(次ページ以下、大学生とは上記学生を含めるとする)₂

- 調査概要
- 質問項目
- 調査対象について
- 洞爺湖サミットについて
- 環境問題に対する意識
- 地球温暖化に対する意識
- まとめ

調査概要

- 対象 全国の大学生 6995名
- 期間 2008年4月21日～6月7日
- 調査目的
この問題に対する若者の意見を社会に届けるため
- 調査方法
弊団体スタッフの広報によるWEBアンケート、紙媒体の配布
- 調査内容
7月に行われる洞爺湖サミットについて、
現代の若者のサミットに対する認知度や環境対策への意見

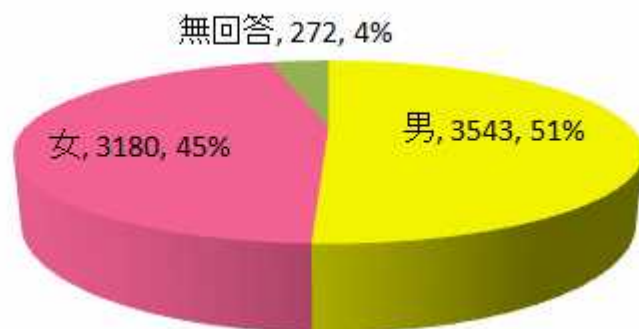
質問項目

- 問1. 『洞爺湖サミット』を知っていますか？お答え下さい。
全く知らない 言葉を聞いたことはあるが、そこで何が行われるかまではわからない
言葉を聞いたことはあり、何が行われるかまでわかる
- 問2. 『洞爺湖サミット』に興味はありますか？お答え下さい。
全くない 少しはある とてもある
- 問3. 洞爺湖を開催地にしたことには、賛成ですか反対ですか？お答え下さい。
賛成 反対 どこでもいい
- 問4. 問3で反対を選ばれた方にお聞きします。開催地はどこがいいですか？
北海道(洞爺湖以外) 東北 関東 東海 関西 中国 四国 九州(沖縄以外) 沖縄
- 問5. どのような環境問題に興味がありますか？当てはまるもの全てをお答え下さい。
異常気象 オゾン層の破壊 海面上昇 森林破壊 種の多様性の喪失 水質汚濁 騒音
地球温暖化 地盤沈下 大気汚染 土壌汚染 特に興味ない
- 問6. 今回のサミットは「地球温暖化」がテーマですが、「地球温暖化」についてどう思いますか？お答え下さい。
地球温暖化を知らない 知っているが、何もする必要はない 危機感はあるが、どうするべきかわからない
危機感があり、自分なりの意見をもっている
- 問7. サミットにより「地球温暖化」に対する意識は上がると思いますか？お答え下さい。
下がると思う 変わらないと思う 上がると思う わからない
- 問8. 地球温暖化対策のために、あなたは何をしていますか？当てはまるもの全てをお答え下さい。
エネルギー効率の良い給湯器を設置する 買い物袋を持ち歩く こまめに電気を消し、電力消費量削減を図る
ゴミの量を減らしている 自家用車の使用を控える 省包装の商品等を選ぶ 使わないときは電化製品のコンセントを抜く
風呂の残り湯を洗濯に使いまわす 物を大事に使う リサイクルをしている 冷暖房を控えめにする
無駄に物を買わない 特に何もしていない わからない
- 問9. 日本政府は地球温暖化に対してどのような対策を講じるべきか、お答え下さい。（自由記述）

調査対象について（性別・学年）

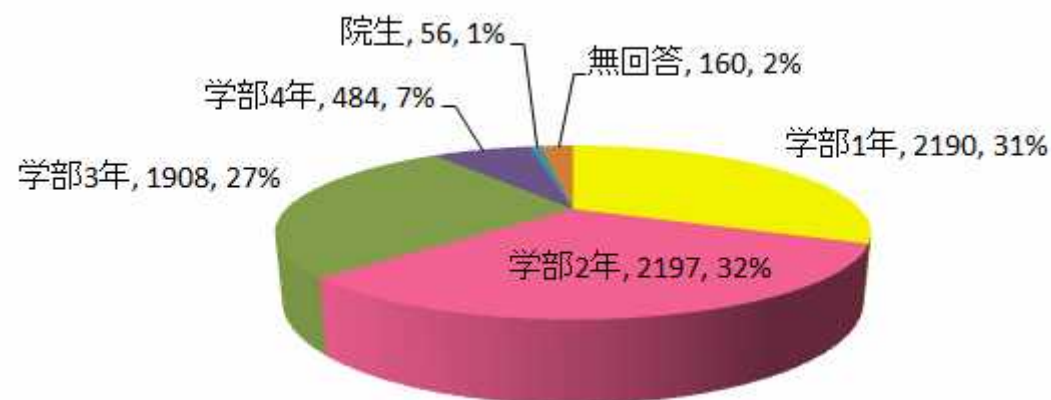
性別

性別	人数（名）
男性	3543
女性	3180
無回答	272
合計	6995



学年

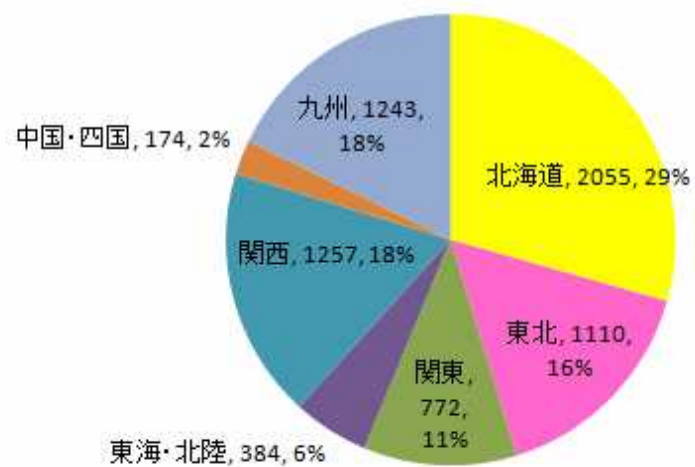
学年	人数（名）
学部1年	2190
学部2年	2197
学部3年	1908
学部4年以上	484
院生	56
無回答	160
合計	6995



調査対象について（所在地・学部）

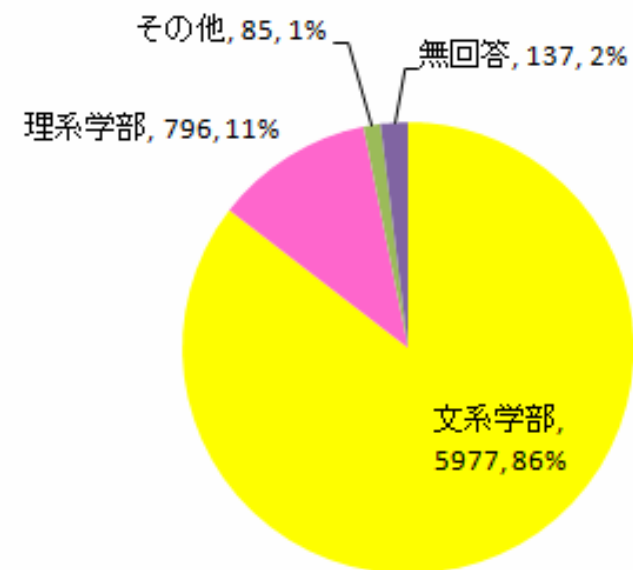
地域

地域	人数（名）
北海道	2055
東北	1110
関東	772
東海・北陸	384
関西	1257
中国・四国	174
九州	1243
合計	6995



学部

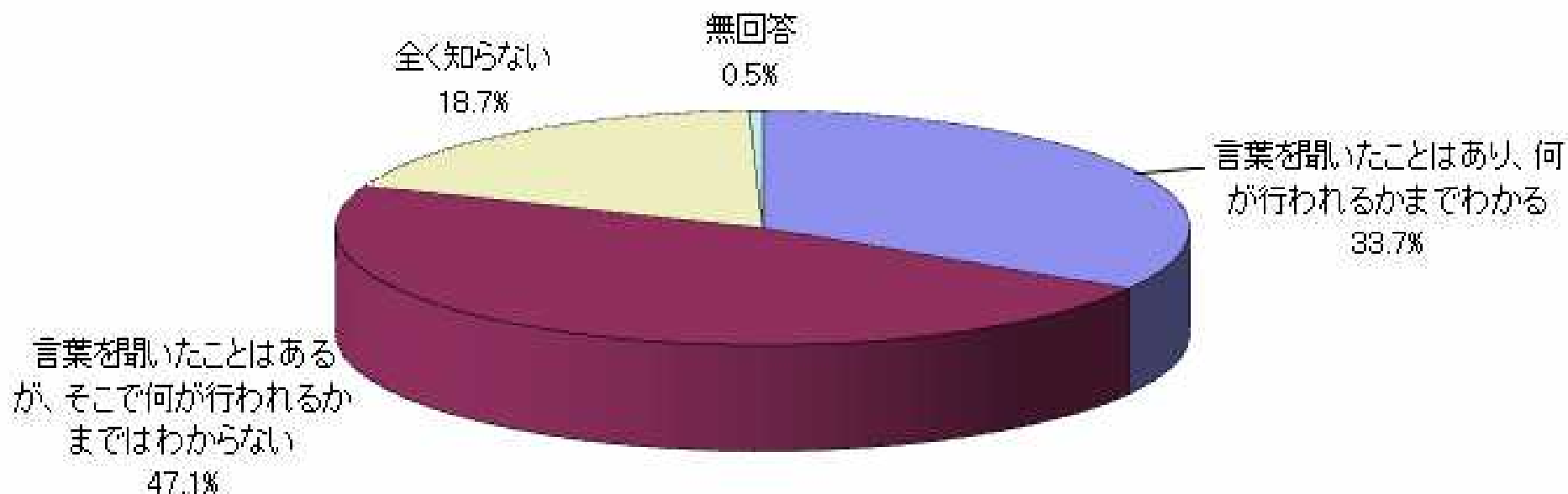
学部	人数（名）
文系学部	5977
理系学部	796
その他	85
無回答	137
合計	6995



洞爺湖サミットについて

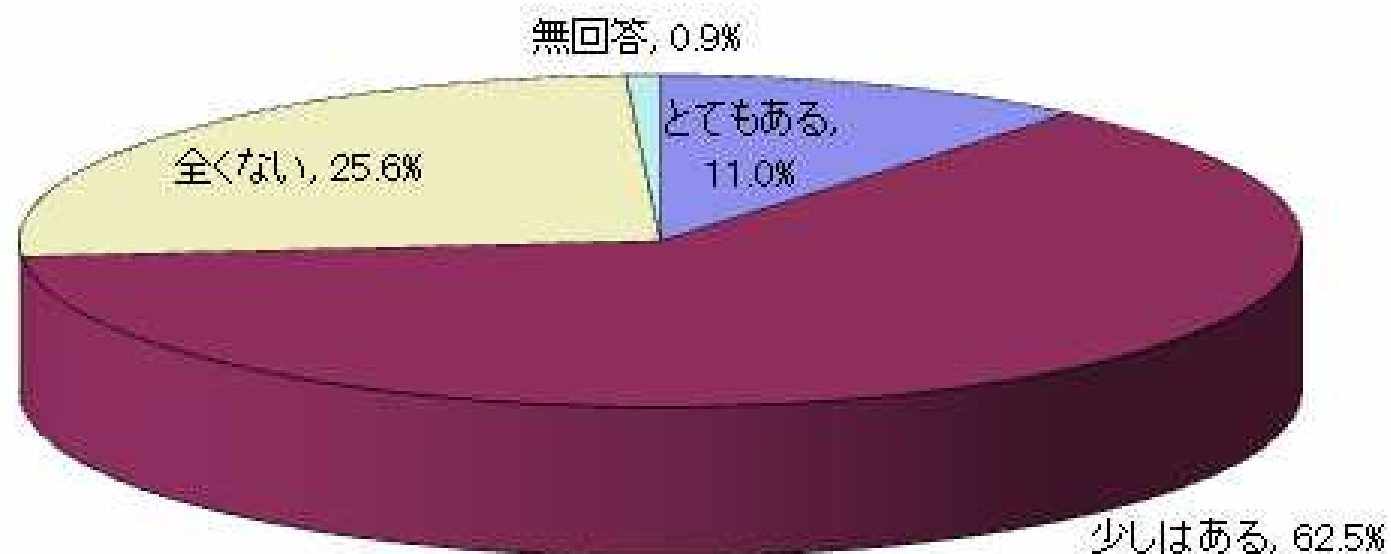
洞爺湖サミットについての認知度

「洞爺湖サミット」の認知度は80.8%。
20%近くの人が、全く知らなかった。
一方、何が行われるかまで分かる人は34%にすぎない。



洞爺湖サミットについての興味関心

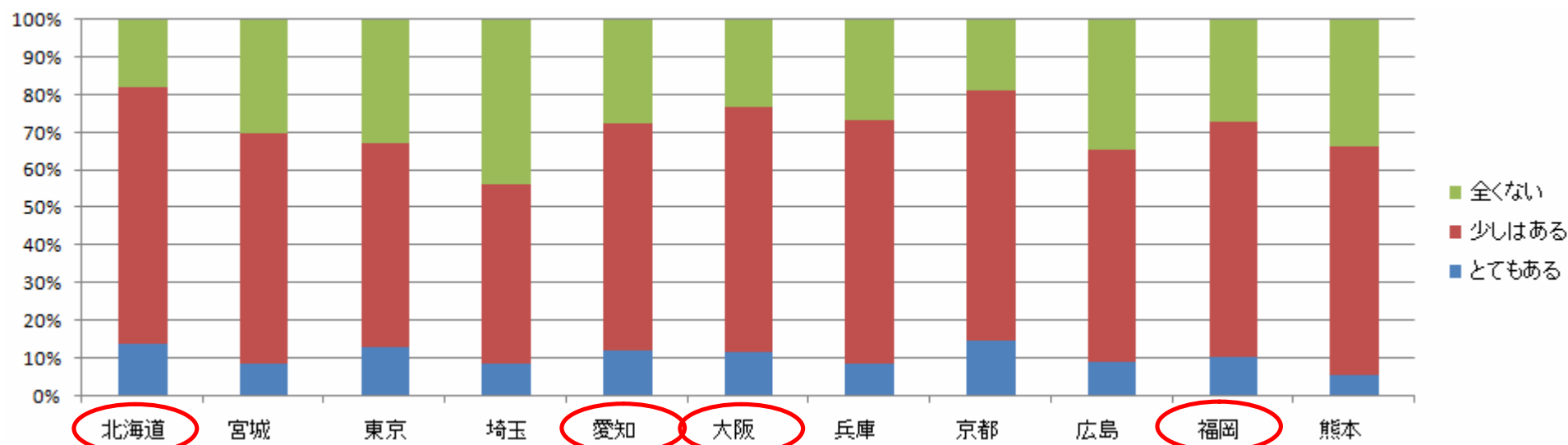
洞爺湖サミットに対して興味関心があると答えたのは73.5%
全くないと答えたのは25.6%であった。



洞爺湖サミットについての興味関心 - 2

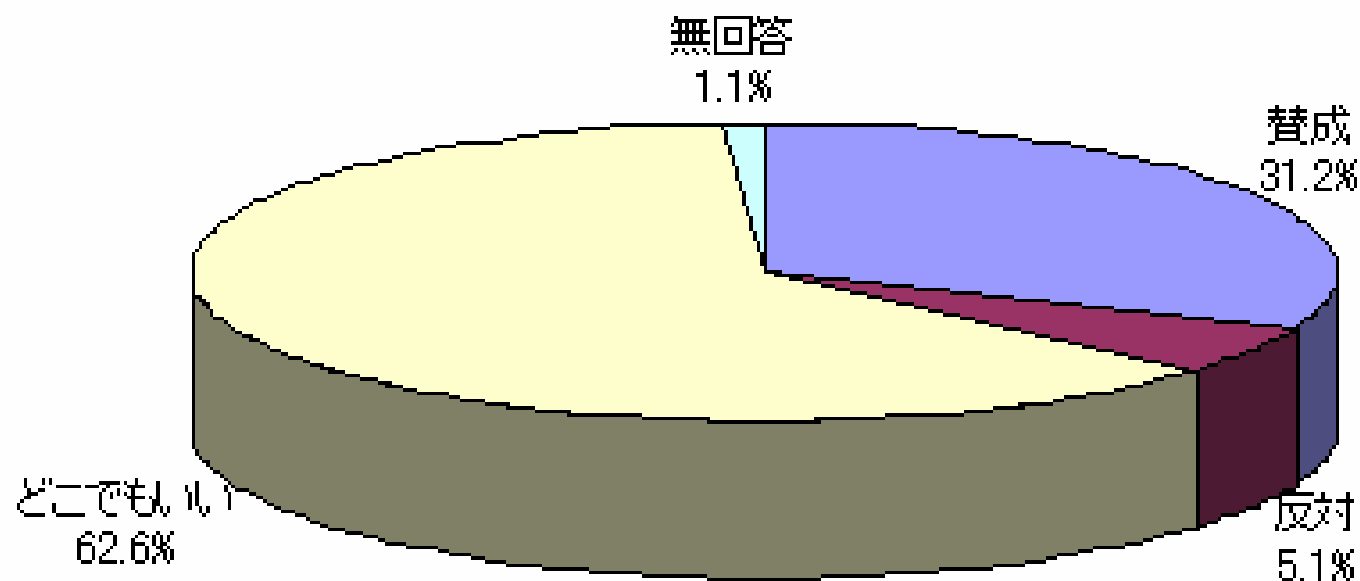
有効回答数が100以上集まった地域において、洞爺湖サミットに対する興味関心をみると、北海道が82%となり、最も興味を持っている割合が高い。次に多い地域が京都（81%）、大阪（73%）、福岡（72%）、愛知（72%）である。

これより地域が注目をあびると、住民にも意識がうつるようだ。京都では地球温暖化防止京都会議、大阪・愛知では万博、福岡では北九州市が環境首都として選ばれたという過去がある。



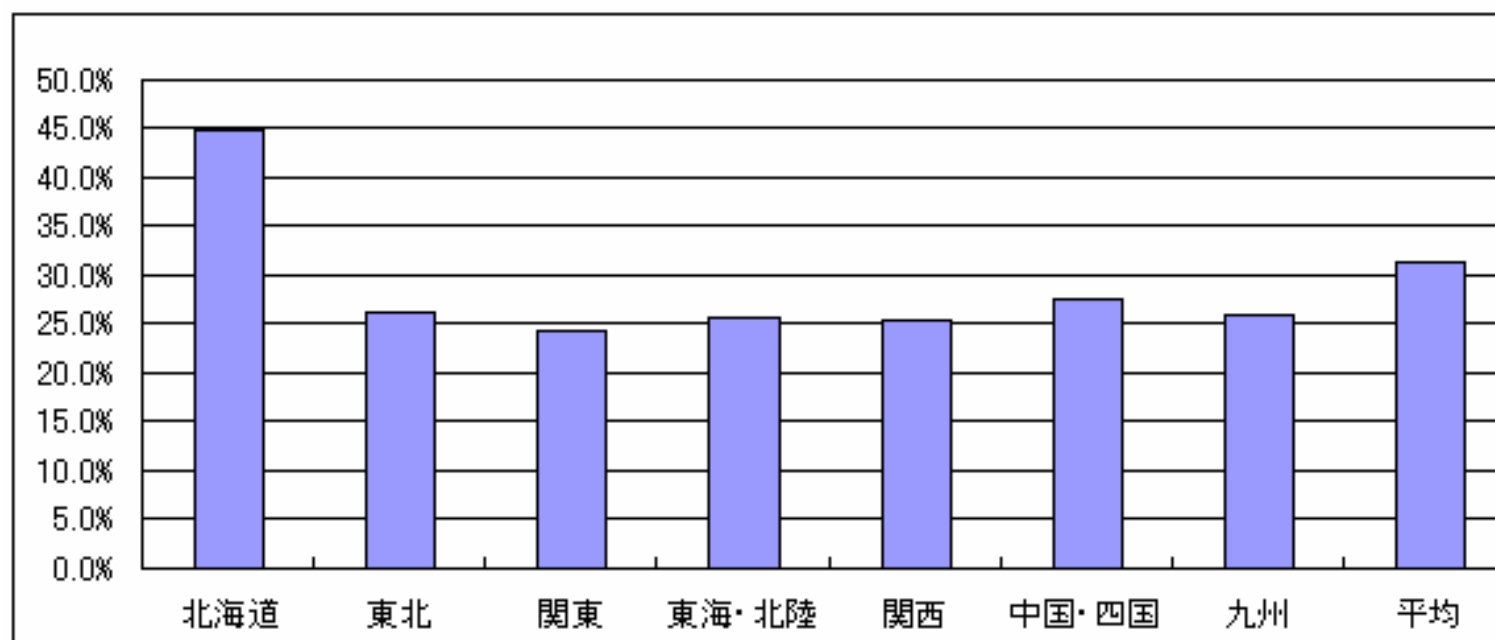
開催地が『洞爺湖』であることへの賛否

開催地に関しては、6割がどこでもいいと答えている。
 サミットがどこで開催されるかに関しては、
 そこまでのこだわりはないと考えられる。



『洞爺湖』開催地に対する『賛成』の割合

開催地に関して、
『賛成』と答えたのは、
北海道が44.8%をマークし、全国平均の31.2%を大きく上回った。
『地元開催』というのは歓迎すべきものだと考えられる。



開催地はどこがいいか

洞爺湖での開催に反対した人がどこでの開催を希望しているかについては、地元での開催が、希望順位の2位までに入っている。
また、全体的に、関東で開催すべきだという意見も多い。

開催希望地域

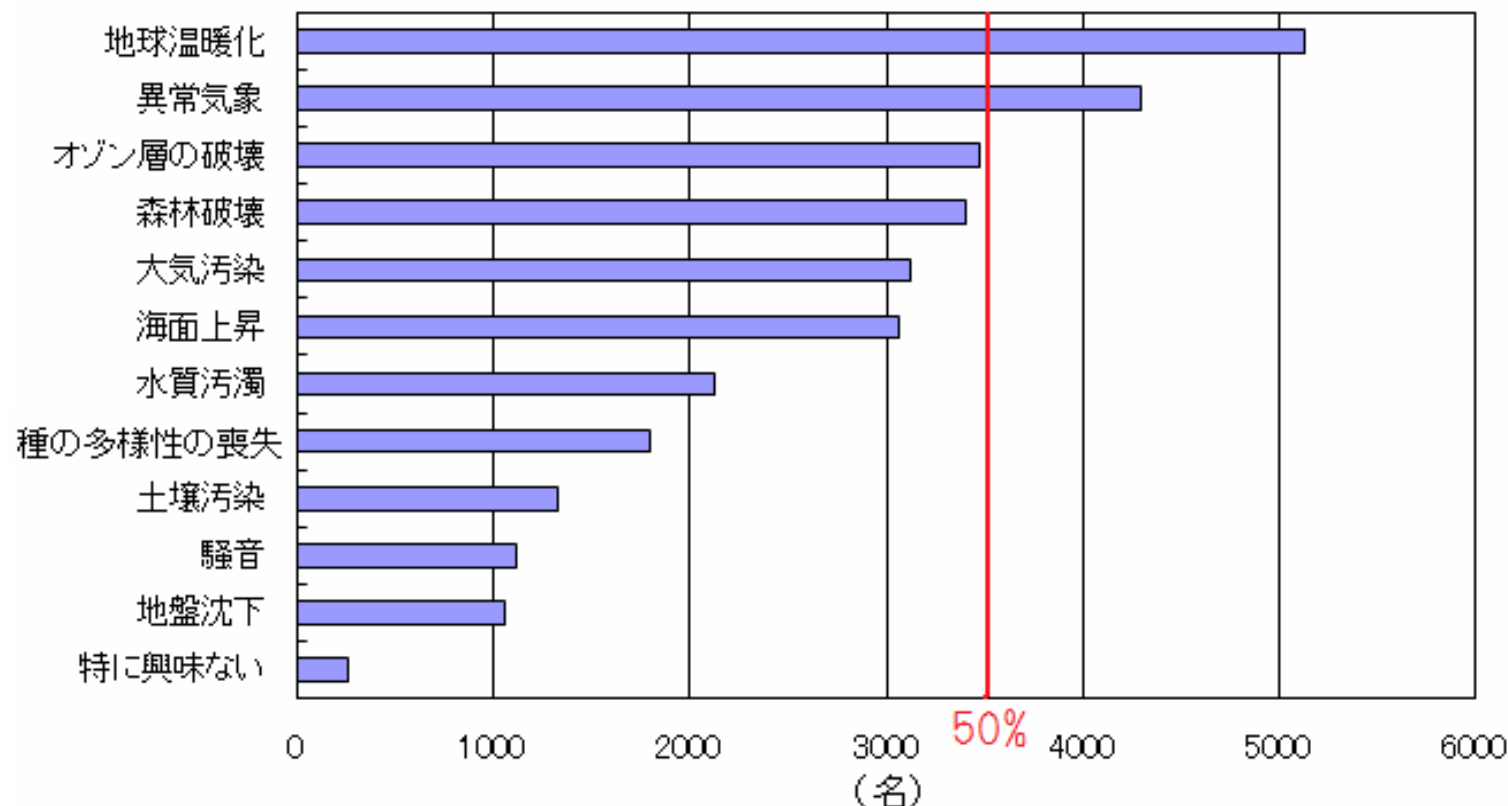
	北海道(洞爺湖以外)	東北	関東	東海	関西	中国	四国	九州(沖縄以外)	沖縄	海外	無回答	合計
北海道	28	8	34	4	7	3	7	6	2	11	10	120
東北	3	7	16	0	2	0	1	0	0	1	7	37
関東	5	3	6	3	5	1	1	3	7	0	27	61
東海・北陸	2	1	4	5	2	2	2	0	2	4	3	27
関西	3	2	18	3	23	3	1	2	6	1	4	66
中国・四国	0	0	2	2	1	2	0	3	0	0	0	10
九州	3	2	9	1	3	0	2	14	1	0	4	39
合計	44	23	89	18	43	11	14	28	18	17	55	360

単位 人数(名)

環境問題に対する意識

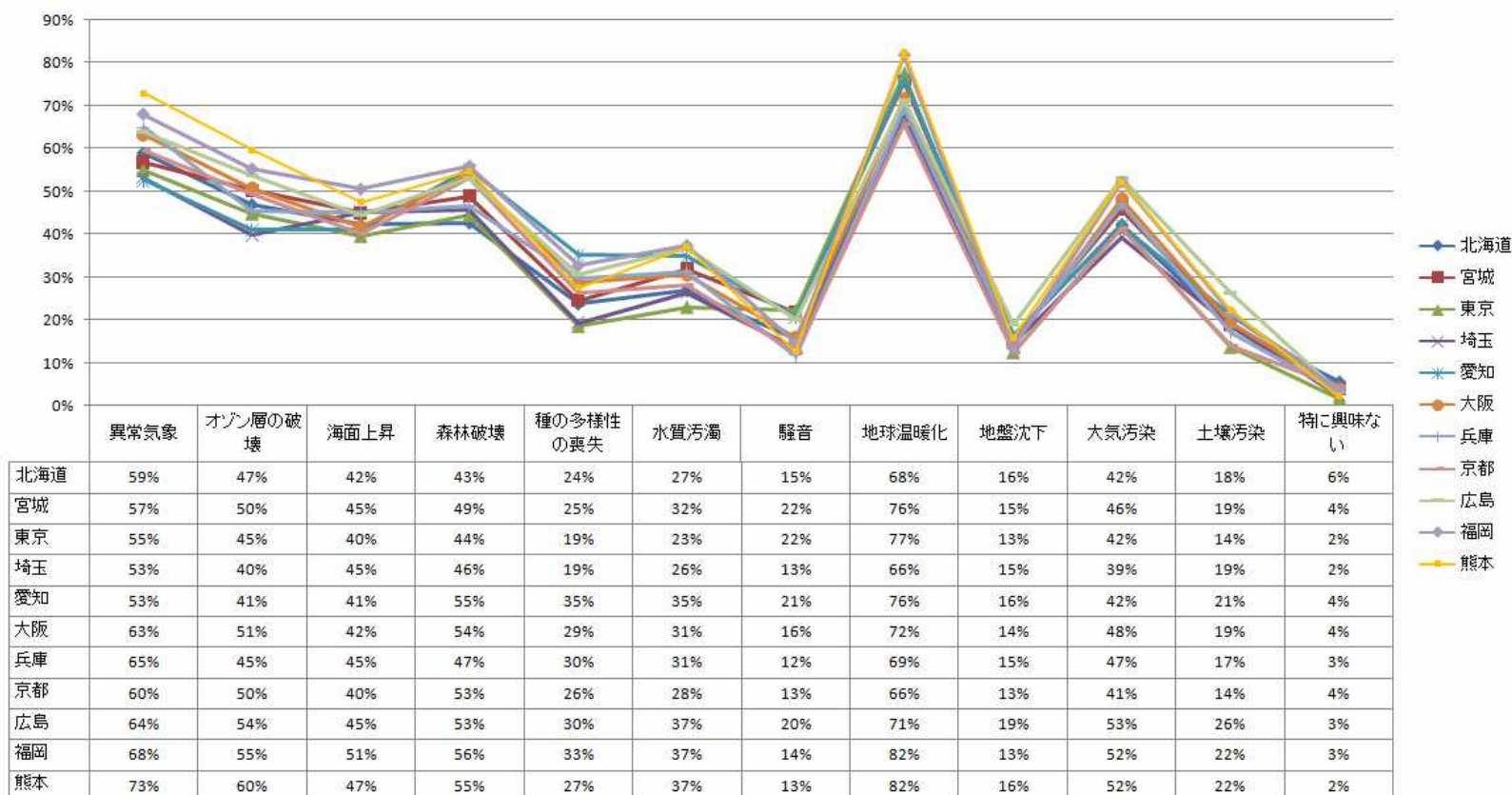
どのような環境問題に関心があるか

地球温暖化は、6995人中5138人、全体の73%が興味があると答えた。
 特に興味がないと答えたのは274人、全体の4%であった。
 環境問題の中では、特に地球温暖化に関心が高いようだ。



どのような環境問題に関心があるか - 2

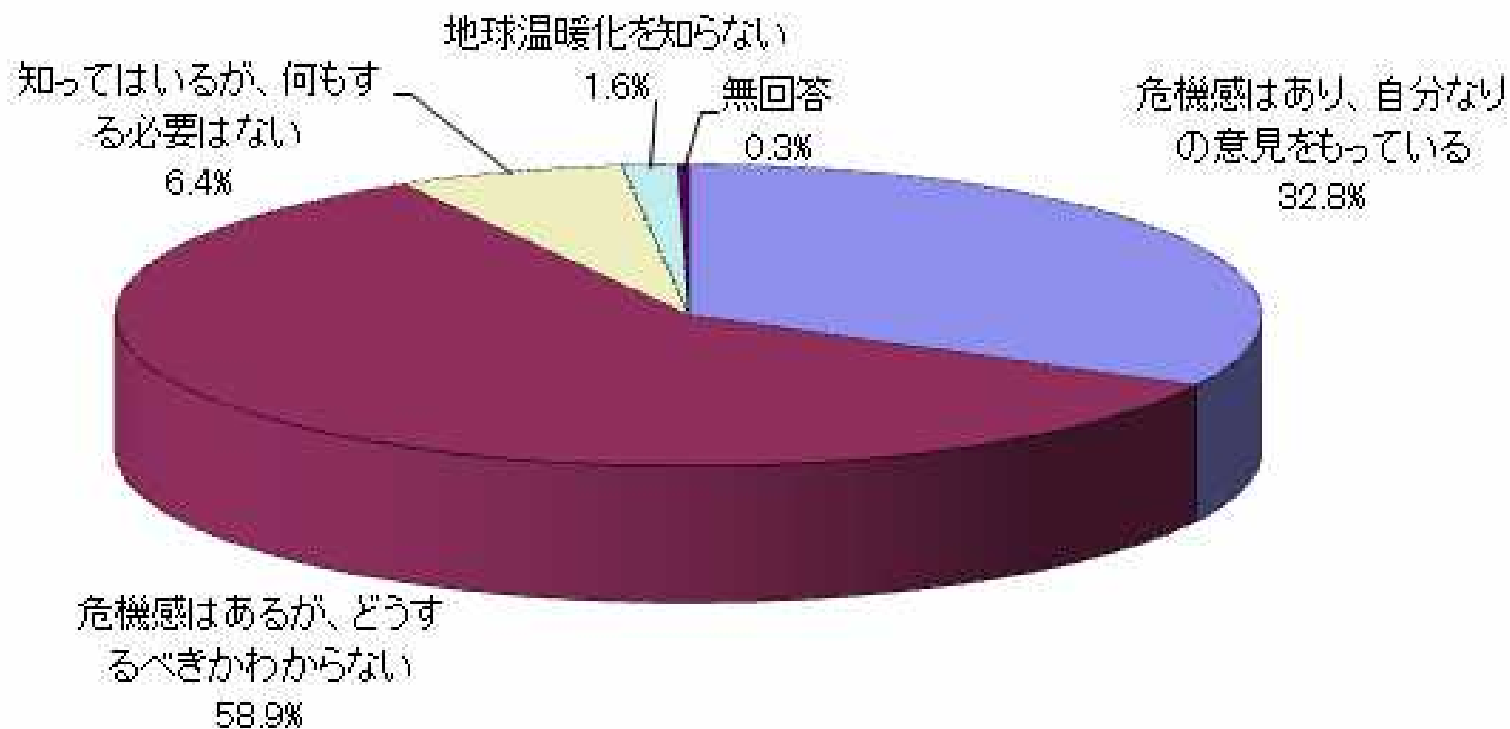
有効回答数が100以上あつまった地域別に、環境問題への関心をみてみると、地域性が顕著となる。特に、森林破壊について北海道（43%）、東京（44%）に対し、福岡（56%）、愛知・熊本（55%）は、身近にある森林がなくなったことがあるかが関係しているようにみえる。



地球温暖化に対する意識

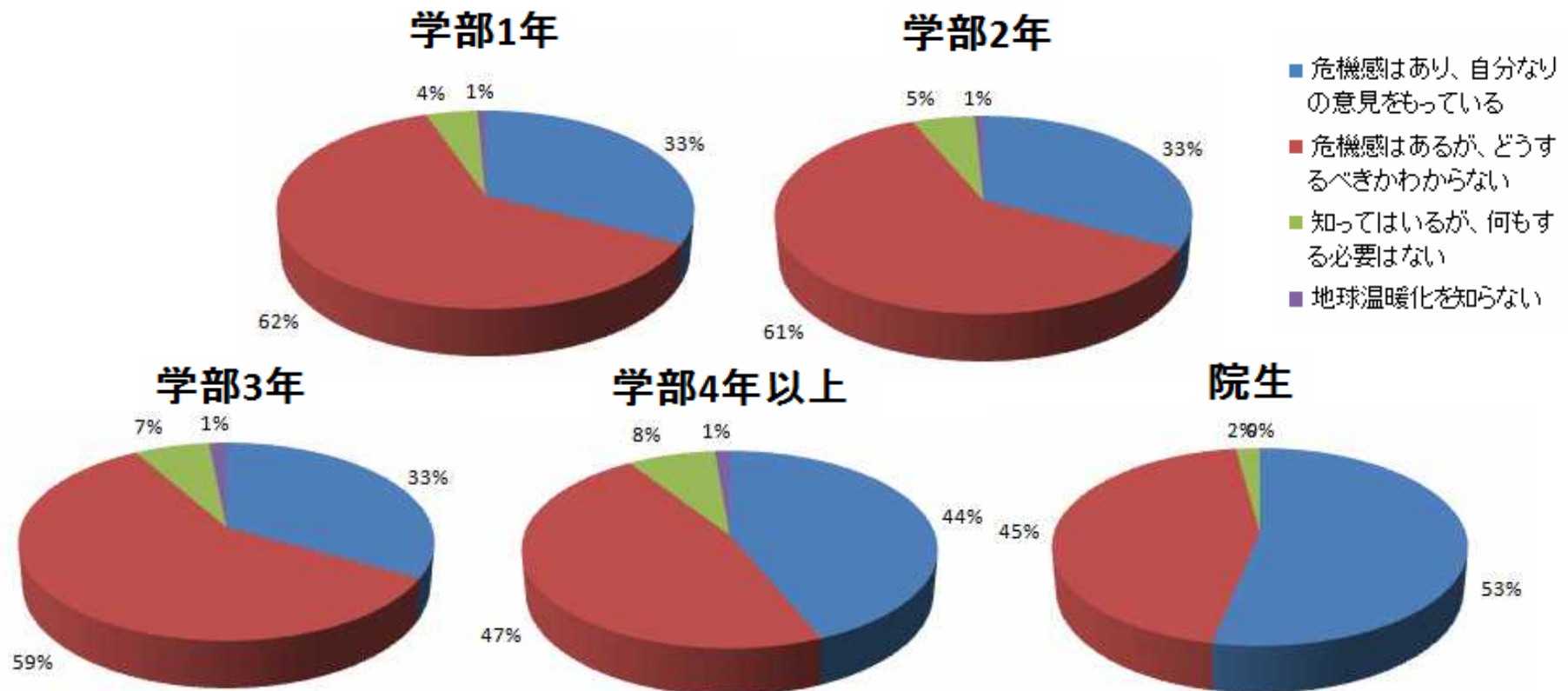
地球温暖化についてどう思うか

全体の90%以上が、地球温暖化に危機感を持っている。
その一方で、59%もが、どうすべきかわからないでいる。



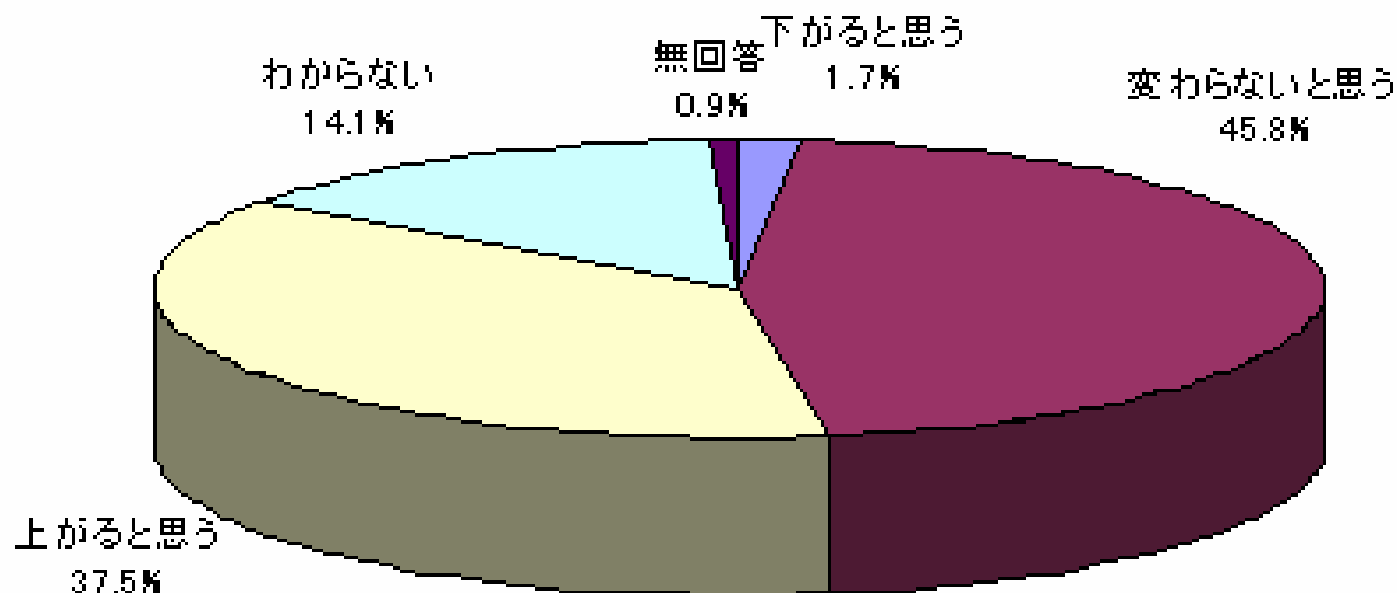
地球温暖化についてどう思うかー2

学年別にみると、学部1、2、3年がほぼ同じグラフを作り、学部4年以上、院生は自分なりの意見をもっている人が4割を超していることがわかる。就職活動など社会に接点が出て、急激に意識の変化が起きているようだ。



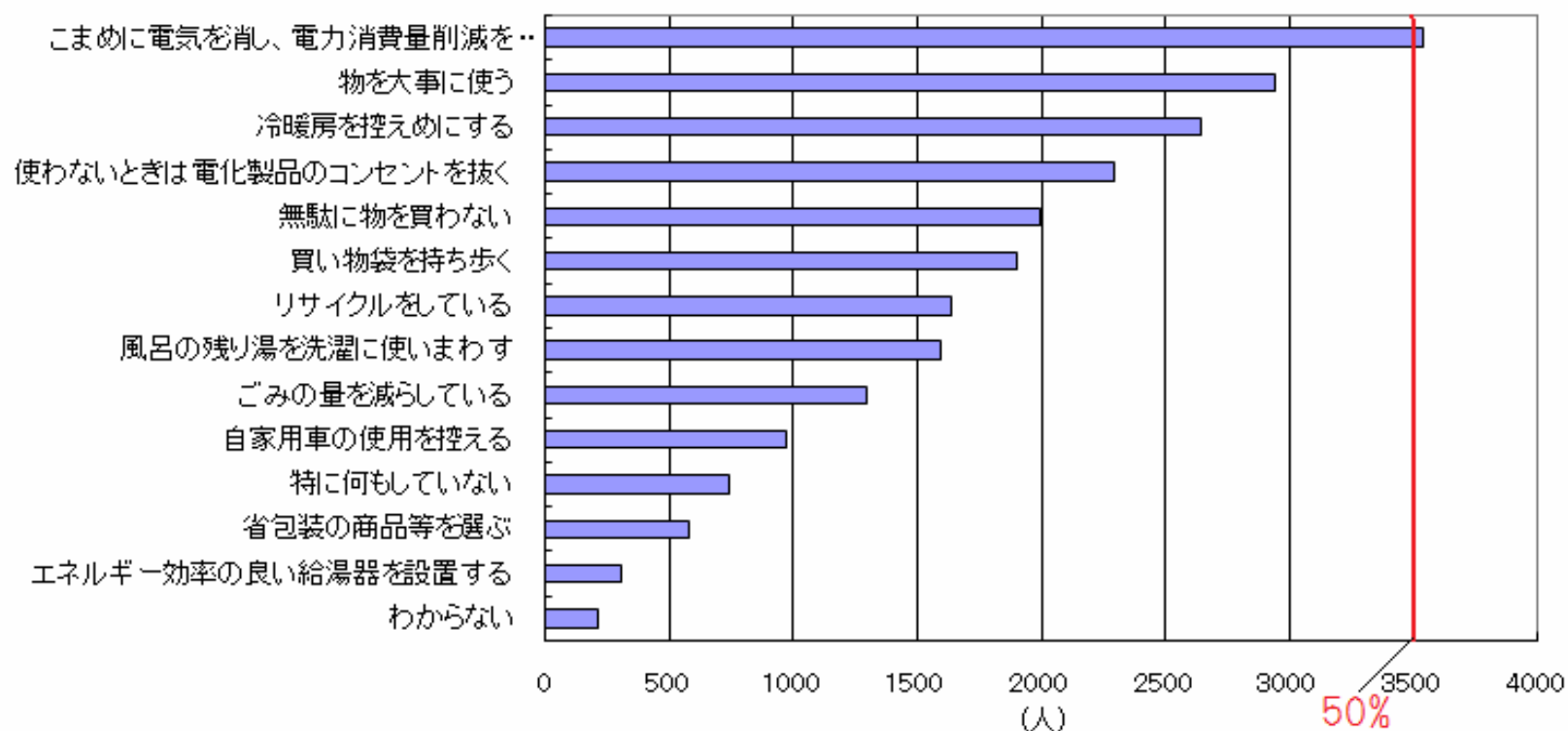
サミットで地球温暖化についての意識が変わるか

今回の洞爺湖サミットによって地球温暖化に対する意識が
上がると思うと答えたのが37.5%
変わらないと思うと答えたのが45.8%であった。

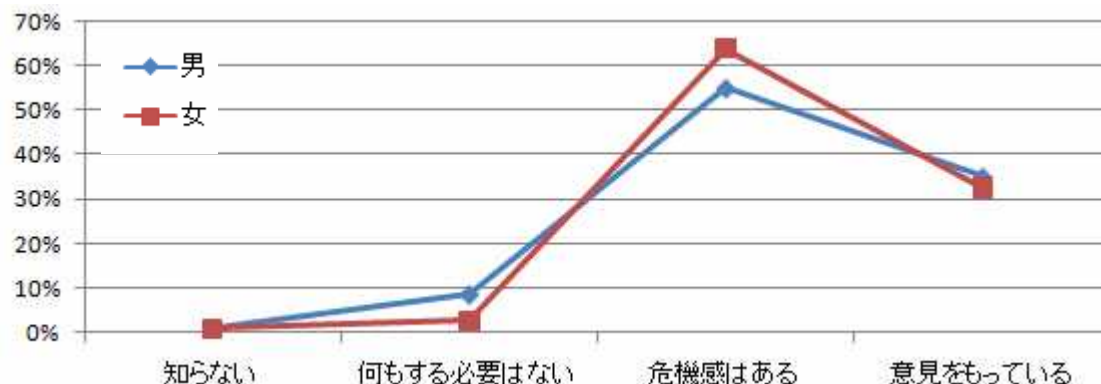


実際に行っている地球温暖化対策

地球温暖化対策を、特に何もしていない、わからない、と答えたのは、954人、全体の13.6%であった。
 よって、86.4%の若者は、意識的、あるいは無意識的に、温暖化対策を行っているようである。



実際に行っている地球温暖化対策- 2

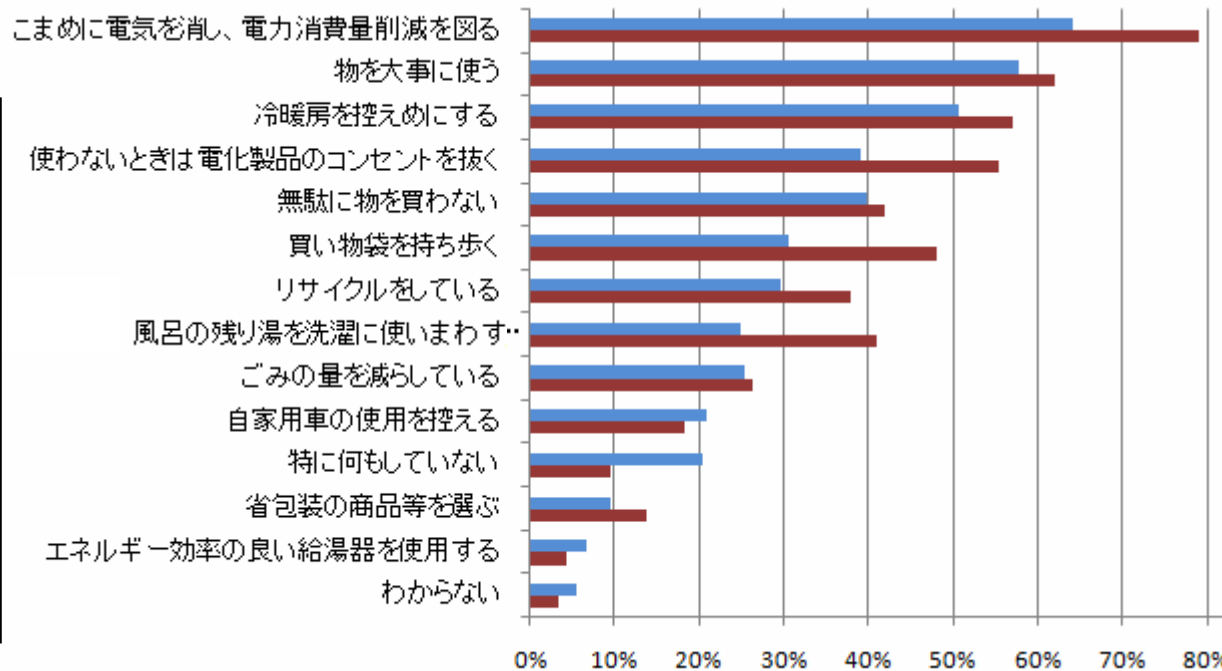


男女別にみると、地球温暖化に対する意識は、男女ともほぼ同じ図を描く。若干、意見を持っている男性が多い。

有効回答数
男：2480 女：2452

温暖化対策について見てみると、女性の方が身の回りについて対策をとっているように見られる。男性の2割が特に何もしていないようだ。

温暖化に対する意識は、男性が若干高いにも関わらず、身の回りについては雑のようだ。



日本政府は地球温暖化のために何をすればよいか

国民に対して、地球温暖化のために何をしたらいいか、なぜ対策が必要なのか、そしてそれをしなければどうなるのかを丁寧に伝えることが、引き続き政府には求められているようだ。

